



キヤノンの強さに迫る

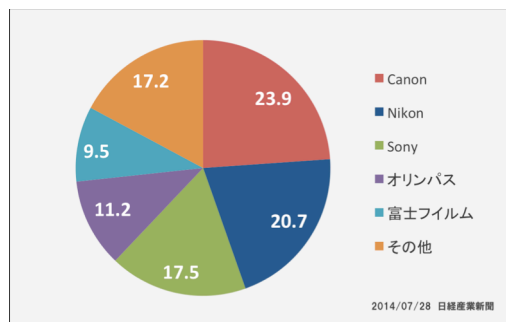
-キヤノン攻守の戦略-

竹口ゼミ 3年 竹葉風香 西村勇人 深川茜
2年 田中大貴* 山田さやか

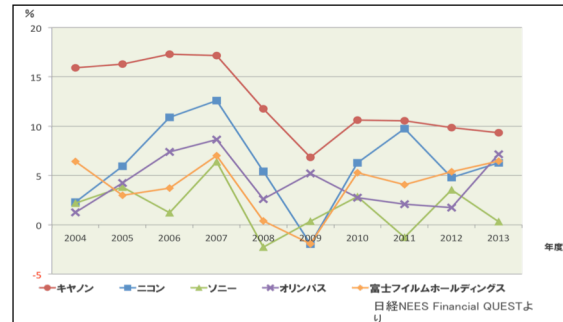
はじめに

近年スマートフォンで写真を撮る人が増えてきている中、デジタルカメラ業界で圧倒的な力を持ち世界シェア1位を誇るキヤノンについて研究を行った。比較対象企業としてデジタルカメラ業界シェア2位のニコンを挙げ分析を進めた。

日本のデジタルカメラ業界シェア



売上高営業利益率 (ROS)



問題提起：キヤノンは「攻撃力」と「防御力」を備えているのではないかな？
今回キヤノンの「攻撃力」を探るため、4P分析を用いて進めていく。

Promotion

効果的な広告宣伝
昔の技術中心のCMから
大衆向けのCMへと大転換

Product

自社の技術を製品へ
多くの特許と多額の研究開発費
で他社に負けない技術を確立

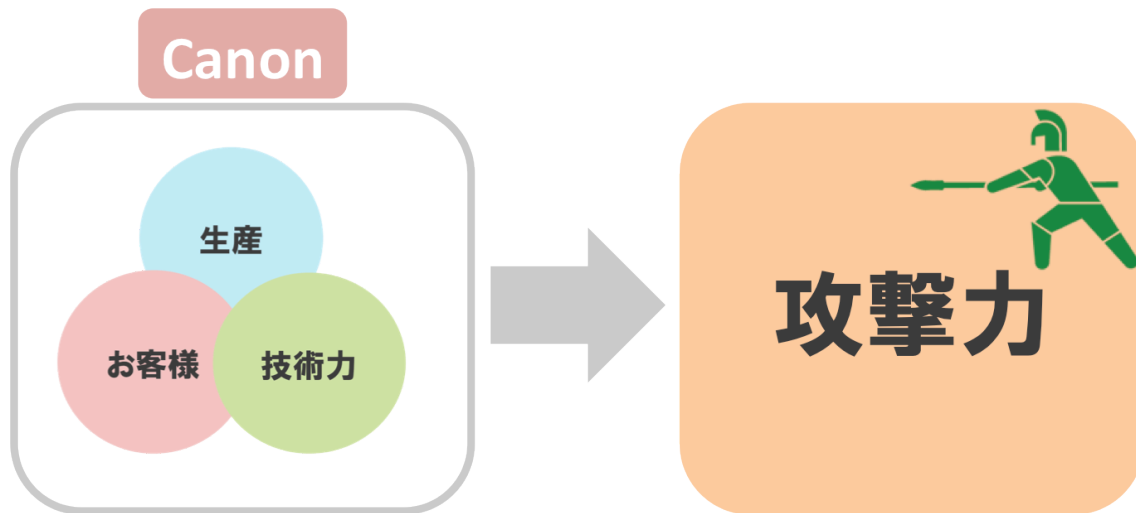
Price

価格<コストダウン
価格では他社と差を付けず、
コストダウン重視で利益の拡大

Place

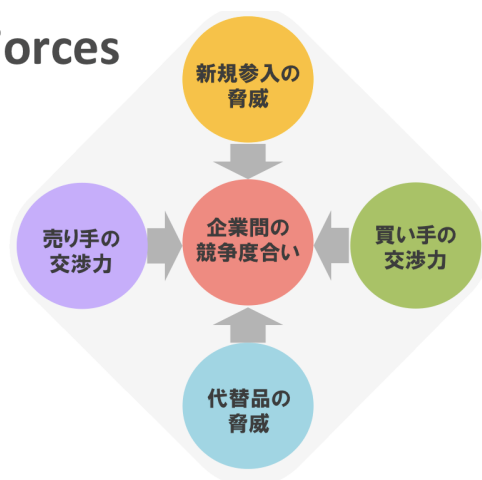
価格<コストダウン
価格では他社と差を付けず、
コストダウン重視で利益の拡大

⇒ 4P 分析の結果、3つの要素がキヤノンの攻撃力となっていた。



攻撃力をもったキヤノンだが、新規参入企業の参入で確立した地位を失う可能性があるのではないだろうか？続いて「防御力」を5Forces 分析で行う。

5Forces



5Forces 分析を行うことによって、その業界の参入障壁が高いか低いかを判断することができる。今回はキヤノンの第2セグメントである複写機業界に着目して分析を進めた。

結果：複写機業界の参入障壁は高く、新規参入企業によって揺るがされることのない業界だとわかった。

今回 4P と 5Forces、2つの視点から分析した結果、キヤノンにはデジタルカメラ業界では収益のための核となる攻撃力と、高い参入障壁内での確立した地位つまり防御力を兼ね備えることによって、強い企業へと成長したことがわかった。これからは海外拠点の拡大も積極的に行い、世界ブランド「キヤノン」として名を馳せていくことと思う。